

| | | | | |
|-------|---|--------------------|--|--|
| 番号 | 2-2-1 | 表題 | 生物反応槽における必要空気量の設計に係る補正係数 α 値の測定方法について | |
| 内容 | <p>反応槽の必要空気量を設計するに当たっては、反応槽中での必要酸素量を清水状態での値に補正する必要がある。この補正に用いる係数として、総括酸素移動容量係数の補正係数α（以下「α値」という。）等があるが、これまで当局ではこれらの値について十分に検証したことがなかった。</p> <p>今回、α値等の測定方法について検討したところ、反応槽上澄水の溶存酸素の除去時には亜硫酸ナトリウムの代替として不活性ガスのパージを用いるべきであるなどの知見が得られた。また、得られた知見を踏まえ、小規模な机上試験方法を用いて区部水再生センターのα値を測定したところ、センター間に顕著な差はなく、設計値を若干上回る程度であった。この結果から、現状使用している設計値は妥当であると考えられる。</p> | | | |
| キーワード | α 値、施設設計、下水試験方法、必要空気量 | | | |
| 処理区名 | | 位置区分 | 水再生センター | |
| 職種区分 | 環境検査 | 施策区分 | 再構築 | |
| 状態区分 | 調査 研究 | 新規性 | 新規知見あり | |
| 実施年度 | 令和3年度 | 全体期間 | | |
| 担当部署 | 施設管理部環境管理課水質調査担当 | | | |
| 発表履歴 | 局内 | 令和3年度 水質技術研究発表会 | | |
| | 局外 | 令和4年度 第59回下水道研究発表会 | | |
| 調査方法 | 直営調査 | | | |
| 関連情報 | | | | |